

製品名: mGluR-4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13861**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 100kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | GRM4 |
| 別名 | GRM4; GPRC1D; MGLUR4; Metabotropic glutamate receptor 4; mGluR4 |
| 遺伝子 ID | 2914.0 |
| SwissProt ID | Q14833 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト mGluR4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 851-900 |

背景

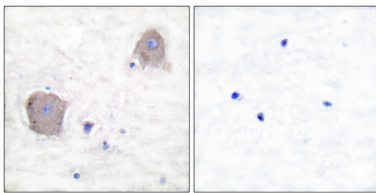
グルタミン酸代謝型受容体 4 (GRM4) ホモサピエンスの L-グルタミン酸は、中枢神経系の主な興奮性神経伝達物質であり、イオンチャネル型および代謝型グルタミン酸受容体の両方を活性化します。グルタミン酸作動性神経伝達は、正常な脳機能のほとんどの側

面に関与しており、多くの神経病理学的状態で障害される可能性があります。代謝型グルタミン酸受容体は、Gタンパク質共役受容体のファミリーであり、配列相同性、推定シグナル伝達メカニズム、および薬理学的特性に基づいて3つのグループに分類されています。グループIには、GRM1とGRM5が含まれ、これらの受容体はホスホリパーゼCを活性化することが示されています。グループIIにはGRM2とGRM3が含まれ、グループIIIにはGRM4、GRM6、GRM7、およびGRM8が含まれます。グループIIとグループIIIの受容体は、サイクリックAMPカスケードの阻害に関連していますが、アゴニスト選択性が異なります。この受容体には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。機能：グルタミン酸受容体。この受容体の活性は、アデニル酸シクラーゼ活性を阻害するGタンパク質によって媒介されます。類似性：Gタンパク質共役受容体3ファミリーに属します。サブユニット：PICK1と相互作用します。組織特異性：小脳で強く発現します。海馬、視床下部、視床では低レベルで発現します。肝臓では発現は検出されません。

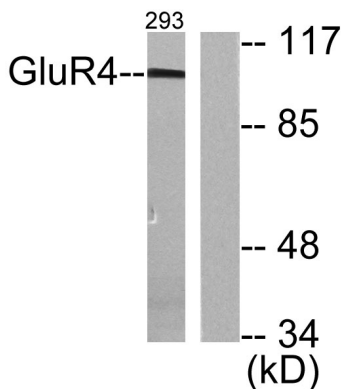
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;味覚伝達;

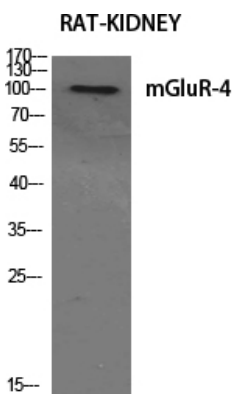
画像データ



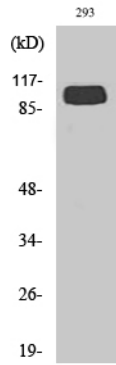
mGluR4抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



フォルスコリン 40nM 30μL 処理した 293 細胞ライセートの mGluR4 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 500 に希釈した mGluR-4 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



1: 500 に希釈した mGluR-4 ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット分析